

## 令和8年度一般選抜A個別方式（第1期）出題意図

### 科目名：数学

I 余弦定理，場合の数，点と直線の距離の基礎知識を問う問題である。

- (1) 余弦定理を用いて三角形の角を求めること，及び三角形の面積を求めることができるかを問うている。
- (2) 0と重複する数字を含む数を使って整数をつくる問題である。数Iにある場合の数の理解を問うている。
- (3) 円周上の点と直線との距離を問う問題である。点と直線との距離の公式の理解を問うている。

II 微分法と平面図形の理解度を問う問題である。

- (1) は図形の相似を用いて長方形の面積を辺の二次関数として表せるかを問うている。
- (2) は長方形の面積の最大値を微分法を用いて解くことができるかを問うている。
- (3) は外接円の直径を求めて平面図形の基礎的事項を活用できるかどうかを問うている。

III 数列の一般項が二項係数によって与えられる問題である。

- (1) は二項係数の理解を問うている。
- (2) は数列の部分和を求めることができるかを問うている。
- (3) は部分分数分解を利用した数列の部分和を求めることができるかを問うている。

IV 2変量のデータに対して，平均値，分散等の特性値を正しく求められるかを問う問題である。

- (1) は，平均値を求め，分散を2乗の平均値から平均値の2乗を引くことで求められるかを問うている。
- (2) は，(1)の分散の計算公式を共分散についても応用できるかを問うている。(3)は相関係数を定義通りに計算できるかを問うている。